# インストールガイド

# AXIS Q1755 ネットワークカメラ

# AXIS Q1755 インストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS Q1755 ネットワークカメラ（以下、ネットワークカメラ）をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。ネットワークカメラの設定などに関する説明については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からご覧いただけます。

**重要！**
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

## インストール手順

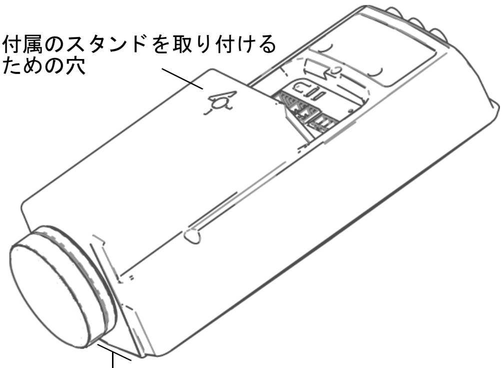
1. パッケージの内容物を確認します。
2. ネットワークカメラの各部の名称について確認します（3 ページ）。
3. ネットワークカメラの設置方法について説明しています（7 ページ）。
4. IP アドレスを設定します（8 ページ）。
5. パスワードを設定します（11 ページ）。

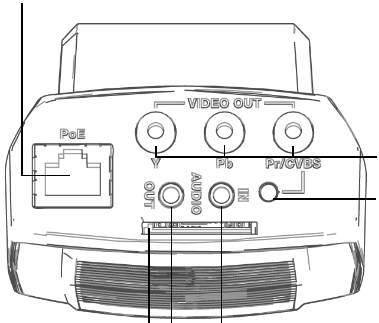
## ① パッケージの内容

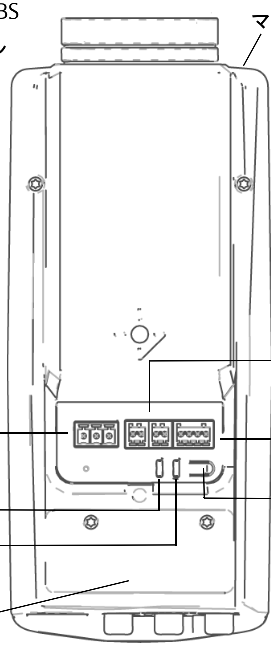
| 名称 | 備考 |
|---|---|
| AXIS Q1755 | |
| ターミナルコネクタ | I/O コネクタ：4 ピン× 1<br>電源コネクタ：3 ピン× 1<br>RS-485/422 コネクタ：2 ピン× 2 |
| カメラスタンド | |
| AXIS Network Video CD v1.3J 以降 | ユーザーズマニュアル（PDF 形式）を収録 |
| インストールガイド | 本書 |
| 保証書 | |

# ❷ ハードウェアの概要

**注意**：
AXIS Q1755 は、通常 Axis のロゴが下側にくる状態で設置するよう設計されています。




**! 重要！**

AXIS Q1755 を屋外で使用する際は、必ずハウジングに収容するようにしてください。

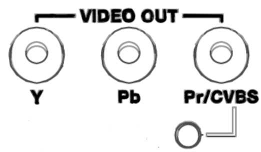
## 各種コネクタ

**ネットワークコネクタ -** 一般的な RJ-45 コネクタを利用してネットワークに接続します。PoE (class 3) を利用してネットワーク経由で電源を供給することもできます。シールド付ネットワークケーブル（STP）の使用をお勧めします。

**AUDIO IN -** モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号（ステレオ信号の場合は左チャンネルだけを使用）のための 3.5mm ソケットです。

**AUDIO OUT -** 音声出力（ラインレベル）には、アンプ内蔵スピーカや PA システムを接続することができます。また、ヘッドフォンを接続することもできます。この端子への接続には、ステレオコネクタを使用してください。

**VIDEO OUT -** コンポーネントビデオまたはコンポジットビデオ信号を出力するための RCA コネクタです。

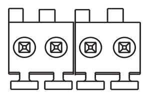



- コンポーネントビデオ出力 - HDTV 対応モニターに接続する場合に使用します（常時利用可）。
- コンポジットビデオ（CVBS）- ビデオモニターに映像を出力します。モニターで確認しながら、カメラ位置を調節することができます。

注意： カメラ設置の際の一時的な機能です。詳しくは、7 ページ「コンポジットビデオ出力（オプション）」を参照してください。

**RS-422/RS-485 コネクタ -** パン / チルト / ズームデバイスなどの機器をコントロールするための RS-485/422 インターフェイスです。

RS-485/422 ポートは、以下のように設定することができます。

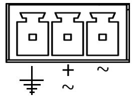



- 双方向RS-485半二重ポート（2線）、RX/TXペア1つを利用してデータ転送を行う。
- 双方向 RS-485 全二重ポート（4 線）、RX ペアと TX ペア 1 つずつを利用してデータ転送を行う。
- 単方向 RS-422 ポート（2 線）、RX- または TX ペアを利用してデータ送信と受信を行う。
- 双方向 RS-422 全二重ポート（4 線）、RX ペアと TX ペア 1 つずつを利用してデータ転送（point-to-point）を行う。

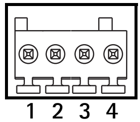
| 機能 | ピン | 備考 |
|---|---|---|
| RS 485/422TX（A） | 1 | RS-422 と RS-485（4 線）の TX ペア |
| RS 485/422TX（B） | 2 | |
| RS-485A alt RS-485/422RX（A） | 3 | すべてのモード（2 線 RS-485 用の RX/TX）ペア |
| RS-485B alt RS-485/422RX（B） | 4 | |

**SD メモリーカードスロット -** SD/SDHC メモリーカードを利用して、録画データをローカルに保存します。

**レンズ -** 市販の広角 / 望遠アダプタレンズや、レンズフィルタ、レンズアダプタの取り付けが可能です（取り付けネジ径・ピッチ：M37x0.75）。デフォルトで取り付けられているカバーを取外し、アダプタをカメラのケーシングにしっかりと取り付けてください。




**電源コネクタ -** 3 ピンのターミナルコネクタ。8 ～ 20V DC または 20 ～ 24V AC に対応しています。別売りの外部電源アダプタ（PS-P T-C）を接続して電力を供給することができます。

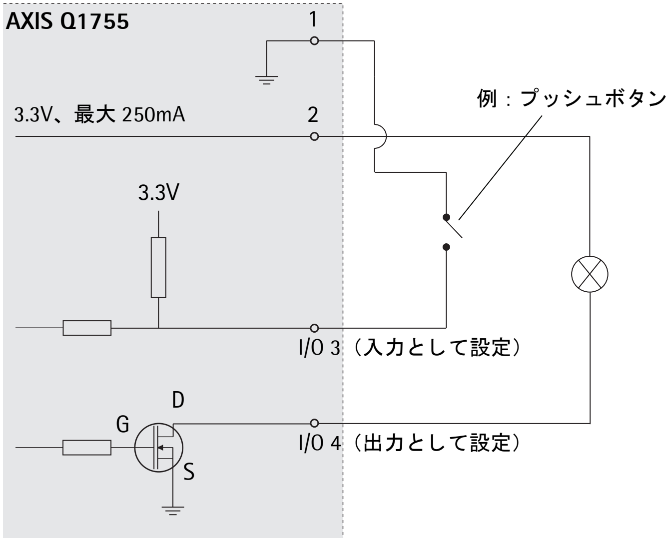



**I/O コネクタ -** モーション検知やアラーム通知などのアプリケーションとともに使用することができます。AXIS Q1755 は DC 電源の補助的なインターフェイスと、入力または出力として設定可能な 2 つのピンを備えています。

- デジタル出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、［Live View］ページ上に表示される出力ボタンや［Event Type］を利用してアクティブにすることができます。アラームデバイスなどが動作したとき、［Events］-［Port Status］で出力の状態が「active」と表示されます。
- デジタル入力 - ドアスイッチなど、状態の切り替え（Open circuit/Closed circuit）が可能なデバイスを接続するための入力です。信号を受け取ると状態が変化し、［Events］-［Port Status］で入力の状態が「active」と表示されます。

| 機能 | ピン | 説明 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| GND | 1 | Ground | |
| 3.3V DC 電源 | 2 | 補助デバイスに電源を供給することができます。<br>**注意**：このピンは電源出力として使用してください。 | 最大負荷 = 250mA |
| 入力 / 出力 | 3 ～ 4 | デジタル入力 - 動作させるには GND と接続します。無効にする場合はフロート状態（または未接続）としてください。 | 最低 = -40V DC<br>最大 = +40V DC |
| | | デジタル出力 - オープンドレイントランジスタ（NFET）を内蔵し、GND に接続されています。電流はピン 2 を使用してください。外部リレーとともに使用する場合は過度電流を避けるためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。初期状態の設定は［System Options］-［Ports & Devices］-［I/O Ports］で設定できます。 | 最大負荷 = 100mA<br>最大電圧 = +40V DC |

## ターミナルコネクタの回路図




## インディケータ

| 名称 | 色 | 説明 |
|---|---|---|
| Network (NET) | 緑色 | 100Mbps ネットワークに接続されています。緑色で点滅してネットワークアクティビティを示します。 |
| | オレンジ色 | 10Mbps ネットワークに接続されています。オレンジ色で点滅してネットワークアクティビティを示します。 |
| | 消灯 | ネットワークに接続されていません。 |
| Status | 緑色 | 正常動作時に、緑色で点灯します。<br>**注意** : Status インディケータは、ユーザがネットワークカメラにアクセスしている時に一定の間隔で点滅されたりすることができます（［Setup］-［System Options］-［LED]）。 |
| | オレンジ色 | ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、およびバックアップ時の状態に復元している時にオレンジ色で点灯します。 |
| | 赤色 | 低速で赤色で点滅している場合は、ファームウェアのアップグレードが正しく行われていません。リカバリーを行ってください。（ユーザーズマニュアルの「トラブルシューティング」を参照）。 |
| Power (PWR) | 緑色 | 正常に動作しています。 |
| | オレンジ色 | ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。 |

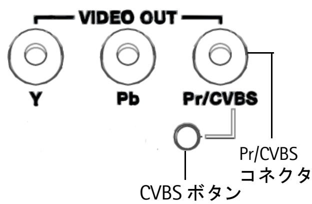
# ③ ネットワークカメラの設置

ネットワークカメラにスタンドを取り付け、ネットワークカメラを設置する天井 / 壁の素材に適したネジを利用してスタンド部を設置面に固定します。AXIS Q1755 は、通常 Axis のロゴが下側にくる状態で設置するよう設計されています。

## ケーブルを接続する

1. 必要に応じて、アラームデバイスなどの外部デバイスをネットワークカメラの I/O コネクタに接続します。I/O コネクタのピン配列については、5 ページ「I/O コネクタ」を参照してください。
2. 必要に応じて、アクティブスピーカーや外部マイクロフォンを AUDIO IN/OUT コネクタに接続します。
3. シールド付ネットワークケーブルを利用して、ネットワークカメラをネットワークに接続します。
4. 以下のいずれかの方法を利用して、ネットワークカメラの電源を入れます。
   - PoE（Power over Ethernet、Class 3）を利用する。お使いのハブが PoE に対応している場合、LAN ケーブルを接続するだけで電源が入ります。
   - 電源コネクタに外部電源アダプタを接続する。詳しくは、5 ページ「電源コネクタ」を参照してください。
5. Power、Status、Network インディケータの状態を確認してください。インディケータの詳細については、6 ページ「インディケータ」を参照してください。

## コンポジットビデオ出力（オプション）




ビデオモニターにビデオ信号を出力することで、カメラ設置の際にネットワークカメラの画像をモニターで確認しながら設置することができます。

1. 7 ページ「ケーブルを接続する」の手順にしたがってネットワークカメラをネットワークに接続してください。
2. コンポジットビデオケーブルを利用して、ビデオモニターの入力と AXIS Q1755 の VIDEO OUT の Pr/CVBS コネクタ（赤色）を接続します。
3. CVBS ボタンを 5 秒程押し続け、ビデオコンポジット出力（インストールモード）に切り替えてください。

**注意：** AXIS Q1755 のインストールモードは約 2 分間継続します。その後、自動的にコンポーネントビデオに切り替わります。インストールモードを延長する場合は、CVBS ボタンをもう一度押してください。

4. モニターで映像を確認しながら、ネットワークカメラの位置や向きを調節します。
5. コンポジットビデオケーブルを抜いてモニターを取り外します。

## コンポーネントビデオ出力

AXIS Q1755 の映像を HDTV 対応のビデオモニターに直接表示する場合は、以下の手順にしたがってケーブルを接続してください。コンポーネントビデオ出力は、ネットワークカメラの電源が入っている間は常時使用できます。

1. 7 ページ「ケーブルを接続する」の手順にしたがってネットワークカメラをネットワークに接続してください。
2. コンポーネントビデオケーブルを利用して、HDTV 対応モニターの入力と AXIS Q1755 の VIDEO OUT の Y、Pb、Pr/CVBS コネクタを接続します。

続いて、8 ページ「IP アドレスの設定」に進んでください。

## 4 IP アドレスの設定

ネットワーク上でネットワークカメラにアクセスできるようにするには、まず IP アドレスを設定する必要があります。

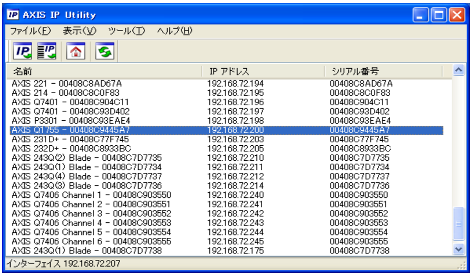
Windows 環境では、**AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** をご使用ください。これらは無償のソフトウェアで、製品に付属の CD に収録されています。また、Axis のホームページからダウンロードしてご利用いただけます。

| | **推奨システム** | **オペレーティングシステム** |
|---|---|---|
| AXIS IP Utility<br>9 ページを参照 | 少数のネットワークカメラのインストールに適しています。 | Windows XP<br>Windows Vista<br>Windows Server 2003 |
| AXIS Camera Management<br>10 ページを参照 | 多数のネットワークカメラのインストール、および異なるサブネット上のカメラのインストールに適しています。 | |

**注意：**
- DHCP サーバによる IP アドレスの自動割り当てを行うこともできます。この場合は、DHCP サーバ側の管理ページにアクセスしてネットワークカメラに設定された IP アドレスを確認してください。詳しくは、DHC サーバに付属のマニュアルを参照してください。また、ネットワーク管理者に相談するようにしてください。
- ネットワークカメラのデフォルトの IP アドレスは、192.168.0.90 に設定されています。
- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- IP アドレスの他の設定方法については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

## AXIS IP Utility を利用する　（1 台のカメラ / 小規模インストール向き）

AXIS IP Utility は、ローカルネットワーク上のネットワークカメラを検出して一覧に表示する Windows 専用ユーティリティソフトウェアです。また、AXIS IP Utility を利用して手動で固定の IP アドレスを設定したり、ネットワークカメラの内部 Web ページにアクセスすることができます。




AXIS Q1755 は、AXIS IP Utility が動作しているコンピュータと同じネットワークセグメント（物理サブネット）にインストールする必要があります。

### AXIS IP Utility の自動検出機能を使ってアクセスする場合

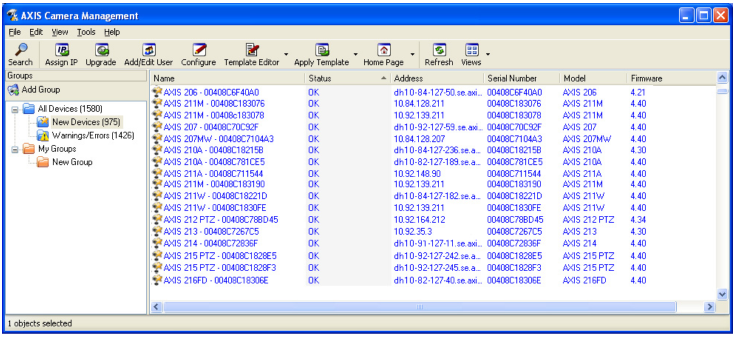
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。一覧から設定を行うネットワークカメラを選択し、ダブルクリックします。ここで右クリックしてショートカットメニューから［IP アドレスを設定する］を選択すると、固定の IP アドレスを設定することもできます。
3. 11 ページを参照して、管理者用のパスワードを設定してください。

### AXIS IP Utility を使って手動で IP アドレスを割り当てる場合

1. ネットワークカメラに設定する未使用の IP アドレスをネットワーク管理者から入手します。
2. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
3. AXIS IP Utility のツールボタンから をクリックするか、［ツール］メニューから［シリアル番号を利用して IP アドレスを設定する］を選択します。ネットワークカメラのシリアル番号と設定する IP アドレスをそれぞれ入力します。
4. ［IP を設定］をクリックし、2 分以内にネットワークカメラの電源を抜き差しして再起動してください。PoE を利用している場合は、ネットワークケーブルを抜き差ししてください。
5. IP アドレスが正しく設定されると、メッセージが表示されます。［OK］をクリックしてメッセージを閉じます。
6. AXIS IP Utility の［ホームページ］をクリックすると、ネットワークカメラの内部 Web ページにアクセスします。
7. 11 ページを参照して、管理者用のパスワードを設定してください。

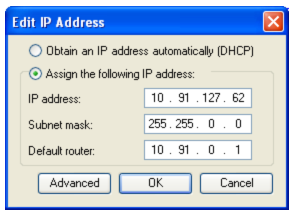
## AXIS Camera Management （複数台のカメラ / 大規模インストール向き）

AXIS Camera Management はネットワーク上の Axis ビデオ製品を自動的に検出し、IP アドレスの設定、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレードなどを複数台のデバイスに対して行うことができるソフトウェアです。AXIS Camera Management はネットワークカメラに付属の CD に収録されています。また、Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からダウンロードしてご利用いただけます。



## IP アドレスを設定する

1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。一覧から設定を行うネットワークカメラを選択し、［Assign IP］ボタンをクリックします。
3. ［Assign the following IP address］オプションの各欄に、ネットワークカメラに設定する IP アドレス（IP address）、サブネットマスク（Subnet mask）、デフォルトルータ（Default router）の値を入力します。

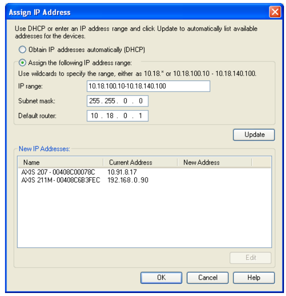



4. ［OK］をクリックします。
5. 結果が［Result］ウィンドウに表示されます。ステータス（Status）が OK と表示されていれば、IP アドレスの設定が完了しています。［Close］ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。
6. IP アドレスの設定が完了したネットワークカメラを右クリックし、［Live View Homepage］をクリックします。
7. 11 ページ を参照して、管理者用のパスワードを設定してください。

## 複数台のデバイスの IP アドレスを設定する

AXIS Camera Management を利用すると、特定の IP アドレスの範囲を指定してその中から利用可能な IP アドレスを複数台のデバイスに割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. IP アドレスを設定する複数のデバイス（異なるモデル同士でも可）を Shift キーを使って一覧から選択し、［Assign IP］ボタンをクリックします。
2. デバイスが使用する利用可能な IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルータを入力します。
3. ［Update］ボタンをクリックします。指定した IP アドレスの範囲内から AXIS Camera Management は利用可能な IP アドレスを自動的に検出します。検出された IP アドレスをそのまま設定する場合は、［OK］をクリックします。編集する場合は、［Edit］をクリックします。




**注意：** **AXIS Camera Management の使用方法についての詳細は、［Help］－［AXIS Camera Management Help］をご覧ください。**

# ⑤ パスワードの設定

製品にアクセスするには、まず管理者（root）用のパスワードを設定する必要があります。パスワードの設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスした際に表示される設定画面で行うことができます。

管理者用パスワードの設定を安全に行うために、HTTPS を利用することができます。HTTPS を利用する場合は、次の「HTTPS 接続を利用してパスワードを設定する」を参照してください。

1. ネットワークカメラの内部Webページに初めてアクセスすると、パスワードの設定画面が表示されます。
2. ［Password］フィールドにパスワードを入力します。確認のため、［Confirm password］フィールドに同じパスワードを入力して［OK］をクリックします。
3. ネットワークカメラへのログオン画面が表示されます。ユーザ名に **root** と入力します。
4. 手順 2 で設定したパスワードを入力して［OK］をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークカメラを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。

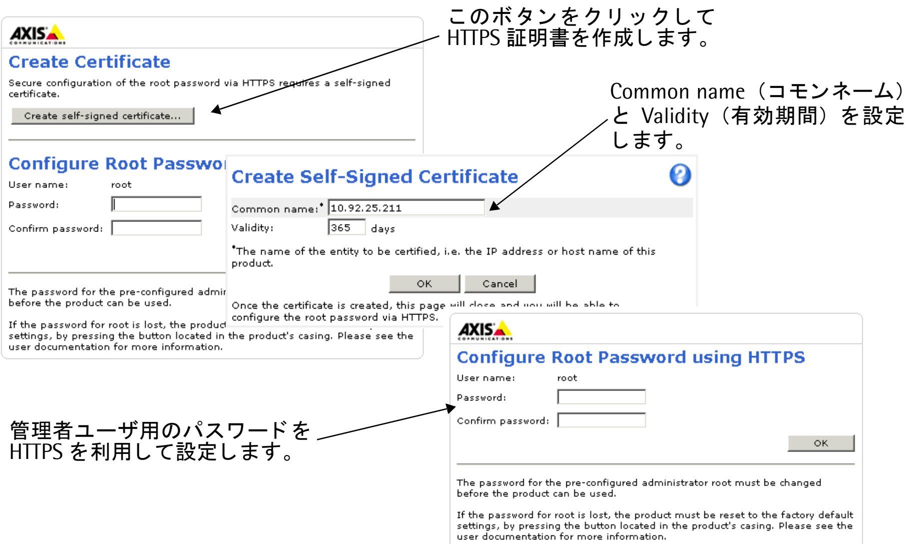



5. AMC（AXIS Media Control）をインストールする画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてインストールを行ってください。AMC のインストールを実行するには、インストールするコンピュータに管理者権限を持つユーザでログオンしている必要があります。
6. ネットワークカメラの［Live View］ページが表示されます。続いて、13 ページ「ビデオストリームにアクセスする」に進んでください。

## HTTPS 接続を利用してパスワードを設定する

下記の手順にしたがって、HTTPS 接続を利用したパスワードの設定を行ってください。

1. ［Create self-signed certificate］ボタンをクリックします。
2. 自己署名証明書の作成画面が表示されます。必要な情報を入力して［OK］をクリックします。証明書の作成状況を示すウィンドウが表示されます。
3. 証明書の作成が終了した後は、ブラウザのメッセージにしたがって HTTPS 証明書をインストールしてください。
4. Web ブラウザを再起動してから、HTTPS でネットワークカメラにアクセスします（https://ネットワークカメラの IP アドレスまたはホスト名 / という書式でアドレスを入力します）。この時点で、ネットワークカメラとのトラフィックの暗号化が開始されます。
5. パスワードの設定画面が表示されます。［Password］フィールドにパスワードを入力します。確認のため、［Confirm Password］フィールドに同じパスワードを入力して［OK］をクリックします。

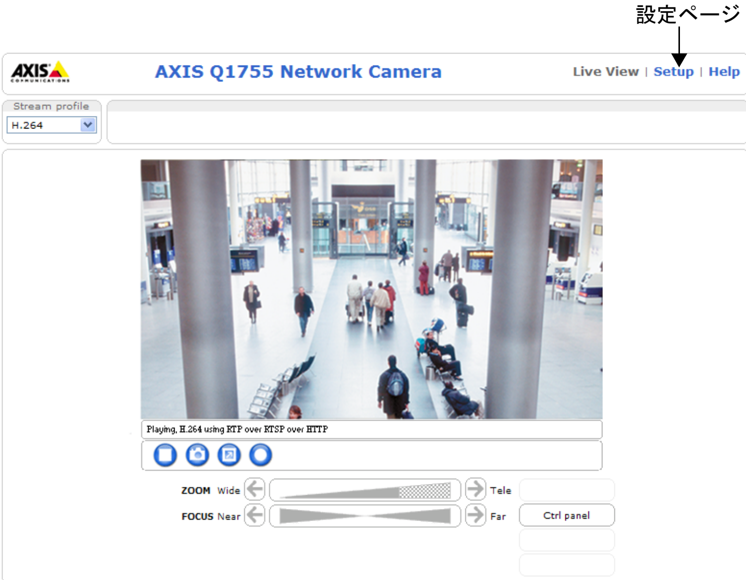



6. AMC（AXIS Media Control）をインストールする画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてインストールを行ってください。AMC のインストールを実行するには、インストールするコンピュータに管理者権限を持つユーザでログオンしている必要があります。
7. ネットワークカメラの［Live View］ページが表示されます。続いて、13 ページ「ビデオストリームにアクセスする」に進んでください。

**注意：**
- HTTPS（Hypertext Transfer Protocol over SSL）はブラウザとサーバ間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。
- デフォルトの管理者ユーザ（root）は削除することはできません。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークカメラを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。詳しくは、13 ページを参照してください。

## ビデオストリームにアクセスする

パスワードの設定が完了し、ネットワークカメラにログオンすると［Live View］ページが表示されます。［Setup］リンクをクリックして、各種設定を行ってください。設定の詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。




## 工場出荷時の状態にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと､IP アドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. ネットワークカメラの電源を切ってください。PoE を利用して電源を供給している場合は、ネットワークケーブルを取り外してください。
2. コントロールボタンを押しながらネットワークカメラの電源を入れます。
3. Status インディケータがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押し続けます（約 15 秒程かかります）。Status インディケータの位置については、3 ページ「ハードウェアの概要」を参照してください。
4. コントロールボタンを離します。
5. Status インディケータが緑色で点灯します（1 分程かかる場合があります）。ネットワークカメラは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。
6. IP アドレスの再設定を行ってください。

注意：
- ネットワークカメラのデフォルトの IP アドレスは、192.168.0.90 に設定されています。
- コントロールボタンを利用してリセットを行うと、すべてのパラメータがリセットされます。［Setup］ - ［System Options］ - ［Maintenance］の Restore ボタンを利用すると、IP アドレスをリセットせずに他のパラメータだけを工場出荷時の状態に戻すことができます。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

## AXIS Q1755 ユーザーズマニュアル

AXIS Q1755 の詳しい設定方法については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からご覧いただけます。

AXIS Q1755 インストールガイド　　第 1 版（R1.0）
Part No. 34724

© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2009
2009 年 3 月発行